

TOTAL HOUSING KUNO

LIFESTYLE
EXAMPLE



有限会社
トータルハウジング久野

[世田谷区 : H邸]

住まい手と作り手の信頼感が生んだ
こだわり満載な家

旗竿状の敷地のため、建物
本体から突き出た形でシック
なブラックの玄関が存在する。



空に向かって伸びる、緩やかな曲線の屋根が印象的な外観。真っ白な建物から突き出す形で、シックな黒い玄関が訪問客を迎える。シンプルなドアを開けると、長いストローク奥に真っ黒な大きい引き戸が待つ。何がこの奥にあるかとドキドキしながらその扉を引いてみる。最初に目に飛び込んでくるのは、上へ上へと続くブルーの鉄骨階段、そして窓の外に見える、小高い丘の上にいるかと思わせるような大きく広がった風景。線路沿いとは思えない美しい景観である。旗竿状敷地、線路沿いという難しい条件の土地にもかかわらず、Hさんご夫妻は、「この眺めを活かす!」と逆転の発想で攻め、この地を選び、そして家の中の様々な箇所に工夫を盛り込んだ。ご夫妻のプロをも唸らす斬新な発想を、現実的なプランにまとめた設計士(井口設計)は、「プロの建築家が見るような雑誌を参考に『こんな形にしたい』とご希望を話す、レベルの高いお客様でした。設計した私もたくさん発見がありました。」と語った。それを形に造りあげたトータルハウジング久野。施工主、設計士、そして工務店。三者の連携プレーの賜物という工夫が、家の随所に見ることができる。「『階段はデッドスペースにしない。廊下と個室は必要なし。』など、私たちの言いたい放題を久野さんは面白がって受け入れてくれましたね。」と当時の打ち合わせを思い返すように微笑みながらご主人は語った。もとはといえば、3LDKの「無難な」プランから始まったプロジェクト。毎週のように開かれたミーティングで、ご夫妻の完成図が洗練され、型にはまらない最高傑作に行きついた。ひとつの家を完成させるために結集した英知と情熱。このチームワークが起因となり、プロジェクトは斬新なアイデアを生むケミストリーで終始満ちあふれていた。



シンプルな外観を損なわない玄関ポーチ。ほのかに明かりをともす埋め込み照明は、ご夫妻の「隠す」というこだわりを引き立てている。



壁をふかして作られた照明とシューズボックス下の照明が温かいムードを演出。

シャープなイメージの外観。
景観を考えた窓の配置には、
設計時にもっとも時間をかけた。



通り過ぎる電車が、3枚の窓ガラスを順番に
 移っていく姿は、映画のワンシーンを見ている
 ようだ。そこは、ホームパーティーが好きなご
 夫妻のこだわりが詰まったリビングルーム。
 広くすっきりとした空間には、お客様が楽しめる
 配慮が行き届いた工夫が施されている。
 キッチンを「動く壁」と名付けた大きな引き戸
 で覆う。生活感を排除することで、レストラン
 での食事と会話を楽しむような味わいを空間
 から届けることができる。天井には大きな照明
 を取り付けず、間接照明とポイント照明の
 み。床には「手に入れるのが難しかった。」
 という60cm四方の大きいタイルを敷き詰め
 た。このこだわりが、さらに洗練されたイメ
 ージを高める。奥様の夢であった鉄骨階段は、
 オブジェとして素敵な空間を演出すると同
 時に、採光や日隠しといった機能も兼ね備
 える。ご夫妻の一番のお気に入り、この階
 段の吹き抜け。クリスマスには3mのツリーを
 置くことを楽しみにしている。階段を登ると、
 正面に2つの洗面台が並ぶ。「パーティーの
 時、脱衣所の洗面にお客様を案内するのは
 嫌。手を洗う時でも快適に過ごしてもらいた
 い。」という、奥様の気遣いから生まれたアイ
 デアだ。「久野さんは、私たち家族の生活ス
 タイルを完全に理解してくれています。私たち
 の視点に立ったうえでプロとしてのアドバイ
 スをくれ、曖昧なイメージを的確に形にしてく
 れました。細部に至るまで私たちのこだわりを
 尊重してくれて、この家が完成したのです。私と
 妻の異なる嗜好も旨くまとめた形で、最後
 には二人が思い描いた通りに仕上がりました。」
 とご主人は誇らしげに話し、「出来上がって
 いくまでが楽しくて、完成間近になると「ああ、
 もうできてしまうのか…」と寂しく思ったくら
 いです。」と付け加えた。



上／窓からの光を邪魔しない、隠された間接照
 明は、リビングの高級感を一層際立たせている。
 左／キッチンスペースを「動く壁」で閉ざすと、
 同時に空間が様変わりする。色の統一と空間
 を仕切ることで逆に広さを演出している。





スカイブルーの差し色が鮮やかな2階の学習スペース。鉄骨階段が解放感を強調し、大きな窓から差し込む自然光で、空間に安らぎを与えている。

2階には二人のお嬢さんの机が置かれ、壁面の本棚に彼女たちの愛読書が色とりどりに並んでいる。大きな窓からの自然光が心地よい解放感を作るこのスペースは、くつろげるカフェでのひと時を連想させ、「将来セカンドリビングにしても良いと思って作った」という意図がよく反映されている。ここでも大きな役割を果たすのが鉄骨階段だ。シックな空間からカラフルな空間への架け橋として、1階とは違って鮮やかなブルーが際立つ2階を自然につなぐ。これによりご夫妻の意向である「上下に一体感」を見事に実現した。その一角にあるドアからチラッと覗いた小部屋の壁紙。中に入ると、他の部屋とは一線を画す異国情緒を漂わせる収納スペースだった。目の前には、最初に見た玄関ドア上の窓。ここからは、東京の住宅街とは思えな

い、はるか向こうまで続く景色を一望できる。戸建てでありながら、高層マンションの眺めを堪能できるというわけだ。ご夫妻は窓の配置にも、とても力を入れたと話す。外から家を見ると、たくさんの小さい窓が不定間隔であるのも、家からの借景にこだわった証である。建てる家の10年先、15年先といった将来まで考慮に入れ、いろいろな会社足を運び、希望をかなえてくれるパートナーを探した。「久野さんには無理な要望に応じて頂きました。最高のパートナーと真剣に取り組んだおかげで、綺麗なだけじゃない無駄のない家を作ることができたと思います。」と満足そうに話し「本が書けるほどドラマチックだった」と、完成した今、家づくりを振り返るご主人。たくさんのストーリーが詰まったこの家からは、それがにじみ出ている。



ロフトに続く階段突き当りの窓から、緑路沿いの景色が遠方まで見渡せる。



玄関上に作られた収納部屋。ゴージャスな壁紙と紫色の天井という組み合わせがとてモチャーミング。



こだわり満載のリビングで和む、Hさんご家族。納得のいく家に大満足と語る。



茶色を基調とするご夫妻の寝室は、窓と間接照明が一体となることで、ゆったりとリラックスできる落ち着いた空間。



視線に入らないスイッチの位置もこだわり。リゾート地のペンションのような眺めのお風呂、上下にある細長い窓とよって天井を高くする効果が施されたトイレ。

DATA

敷地面積 119.04㎡ (約36.00坪)
 延床面積 106.40㎡ (約32.18坪)
 1階面積 53.80㎡ (約16.27坪)
 2階面積 52.60㎡ (約15.91坪)

◎工法/木造軸組在来工法
 ◎基礎/ベタ基礎
 ◎断熱材/高性能グラスウール 16K
 ◎屋根材/コロニアル葺

◎外装材/サイディング(一部ジョリパット)
 ◎内装材/準耐火強化石膏ボード、ビニールクロス貼
 ◎床材/リクシルDフロア
 ◎開口部/リクシルペアガラス
 ◎キッチン/タカスタンダード オフェリア
 ◎バスルーム/タカスタンダード ミーナ
 ◎その他/洗面化粧台 サンワカンパニー
 ◎竣工年月/2013年3月
 ◎工期/約105日
 ◎家族構成/ご夫婦、子供2人

Point 設計のポイント「どうすれば要望に応えられるか」のみを考える

トータルハウジング久野は、お客様のみならず建築士からも、「信頼のおける会社」と定評がある。お客様の要望は様々で、時には無理難題だらけになることもあるが「できない」ということよりも「どうできるか」に視点を移し、検討する。この姿勢が高い評価につながるのだ。それはお客様を本当に理解して、求めているものを作る意念がないということ。ハウビルダーとしての役割をきちんと果たすべく、細部にまで注意を置き、イメージされた完成形に近づける努力は、造り手としての美德であり、そして、彼らは「造る」という楽しさを本当によく知っている。その知識が、「完成」に多大な影響を与えているのだ。

2012年5月10日に開催された、ホームリサーチガイド第1回工務店グランプリにて
(全242社中)
全国工務店 第4位 東日本地区 第1位 に、選ばれました!!

5 Keyword for **D+STYLE** ライフスタイルに合わせて可変する空間
 トータルハウジング久野が提案する新しい住まいのカタチ